

第9回 西日本インカレ（合同研究会）専用企画シート

必ず「企画シート作成上の注意」をご確認いただき、ご記入をお願いいたします。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ) フクオカダイガク	フリガナ) ショウガクブ	フリガナ) デザイゼミナール
福岡大学	商学部	太宰ゼミナール

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数（代表者含む）
フリガナ) Adwords チーム	フリガナ) スエヒサ ユウキ	4名
Adwords チーム	未久 裕貴	

研究テーマ（発表タイトル）

遺伝子検査のチカラ ～健康なうちに分かっていたら～

1. 研究概要（目的・狙いなど）

私たちは AdGrants という Google 社が運営する CSR 活動に参加し、毎月 10,000 ドルの広告費を協力した NPO 法人の認知度向上のために運用してきた。AdGrants とは、Google 社が自社のリスティング広告枠を上記予算の範囲で NPO 法人向けに提供し、認知や集客を上げる取り組みである。

今回の AdGrants では、Google Analytics、Google 広告というサービスを利用した。Google Analytics とは、Google が無料で提供する Web ページのアクセス解析サービスで、訪問者数、流入元、サイト内でのユーザーの動きなどを見ることができる。Google 広告とは、提供する商品やサービスに関心を示したタイミングを狙って検索画面に広告を表示することができるオンライン広告プログラムである。

本プロジェクトの最大の目的は、リスティング広告を介して興味を持ったユーザーを、遺伝子検査を活用して社会的貢献を行っている NPO 法人「こどもたちのこどもたちのこどもたちのために」(以下 NPO)のサイトに流入させ、認知度向上や法人の活動を支援することである。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

近年、インターネット（以下ネット）が普及し、多くの情報・データが錯綜し溢れているが、ネット上の行動データを分析することができる人が少ないのが現状である。このデータの分析ができると、ネット上の集客や認知度の拡大など課題解決や目的達成がしやすくなる。またネット広告は近年急速に成長を遂げ、市場規模を拡大してきている。その背景には、スマートフォンなどのモバイル端末が普及し、インターネットの接触時間が増加し、消費者のインターネット検索が盛んになったため、広告主から消費者に働きかける動きが高まったことが挙げられる（岸ほか 2017）。また、ネット広告は課金形式から低額で広告出稿が運用でき、さら

には閲覧者に合わせた広告配信が可能になるため、ターゲットの絞り込みも容易になるなど、効率的な広告運用ができるようになった（阿部 2013）。

そこで、実際に企業ではどんなサイト解析をしているか、ネット上でどんな広告を行っているかを WEB のコンサル事業を行う企業や広告代理店計 7 社にヒアリングをしたところ、Google Analytics やネット広告を活用できていないという現状がわかった。実際に今回プロジェクトで関わった NPO にもヒアリングを行ったところ、Google Analytics やネット広告がうまく活用できていないというのが現状であった。そこで、実際に我々が Google Analytics と Google 広告を用いて、NPO の WEB サイトのアクセスや広告出稿の分析をしたところ、以下のような現状が浮上した。

1. 遺伝子検査の認知度が低いため、Web サイトへの流入が少ない

2. 検索ワードの設定がうまくできていない（サイトに関心のないユーザーの流入、既存の検索ワードの不足）

（※設定した検索ワードは広告を表示するために必要であり、関連の高い検索ワードを設定し入札することで、商品やサービスに関心を持ち、顧客となる可能性の高いユーザーに的を絞って広告を表示できる）

以上が Google Analytics と Google 広告における分析の現状として挙げられた。

3. 研究テーマの課題

遺伝子検査の認知度が低いことと、Google Analytics と Google 広告が活用しきれっていないため、NPO の目標であるアプリのダウンロード数を増加させることが困難であることがわかった。ここからの具体的な課題は、効果的な検索ワードで、遺伝子検査に興味・関心の高いユーザーにアプローチを行い、Web サイトへの流入やアプリのダウンロード数を増加させることで遺伝子検査の認知度向上を目指すこととした。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

1. キーワードの追加

- ・福岡大学で学生が使えるデータベース（聞蔵Ⅱビジュアル、日経テレコン、日経 BP 記事検索サービス）を利用したキーワードピックアップ
- ・キーワードプランナーという検索ネットワークにおける、広告掲載に役立つ検索ワードの候補や予測データの利用
- ・Google Analytics の Search Console を利用して既存のユーザーがどのような検索ワードで流入してきたかを分析

2. 除外キーワードの追加

・ユーザーごとに関心のある広告が表示されるように、関係のない検索ワードでサイトに流入してくるユーザーを制限することにより、サイト情報に関心の高いユーザーに絞る。

3. 広告の細分化

- ・検索ワードを共通するテーマに沿って細かくグループ分けすることで、グループごとに関心のある広告を表示

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

Google Analytics 及び Google 広告の研究ツールを学んだ参照先は以下の通りである。

- ・Google 広告 公式チャンネル

https://www.youtube.com/watch?v=OMqkl8QzgiQ&list=PLyX8_g6XWR6t1spJWqxJW5o4B1MWn3yRX

- ・Google アナリティクス アカデミー <https://analytics.google.com/analytics/academy/>

・山野勉（2017）「Google アナリティクスのやさしい教科書。手を動かしながら学ぶアクセス解析の基本と実践ポイント」（株）ラグランジュポイント

我々の活動の流れは以下のとおりである。

- ・Google Analytics 及び Google 広告の学習
- ・NPO、Google 社と打ち合わせ（延べ 4 回）と、Ad Grants の取り組み開始
- ・学内での遺伝子検査の認知度調査・アンケート
- ・AdGrants の月 1 万ドルを使った広告運用
- ・Google 社の Google Analytics の担当の方に、「4.課題解決策」で示した提案内容や途中経過等を報告
- ・NPO 法人「こどもたちのこどもたちのこどもたちのために」代表者兼グリーンコードのアプリ開発者である方に、「4.課題解決策」で示した提案内容や途中経過等を報告
- ・Web 広告のコンサル担当の方との会議、サイト改善や計測改善の模索
- ・Google 社の Online Marketing Challenge の参加検討

6. 結果や今後の取り組み

「4.課題解決策」で示した方法で選出した検索ワードを設定した結果、活動前（2018/7 以前）では 1 日平均 30 人のユーザーのサイト流入があったが、活動した期間（2018/8~2018/10）では 1 日平均 54 人のユーザーがサイトに流入をし、約 80%増加した。さらに検索ワードの内容において、活動前までは“アプリ”という言葉だけに偏った検索ワードや他社の関係ないアプリ名での流入ユーザーが多かったが、活動後においては検索ワードを追加したことによって、当 NPO のサイトに関連性の高い検索ワードでの流入ユーザーが増加した。つまり、活動前に比べ活動後において、より遺伝子検査に興味・関心の高いユーザーを獲得できたのである。

今後も引き続き遺伝子検査の認知度向上のための取り組みを行っていく。これまでユーザーが流入してきた検索ワードを Google Analytics で解析していき、これからも検索ワードを設定していく。

加えて、Google Analytics 上の目標値を追加することで、ユーザーが最終目標に至るまでを細分化して、小さな目標を立てることでユーザーがどこで離脱しやすいのか、サイトのどこにバナーを置いた方がダウンロードが増加するのかなど、サイト内におけるユーザーの動向をより詳しく把握することにより、サイト改善を行っていく予定である。さらに、Web 広告のコンサルタントの方などからの評価や指摘をもとに広告の改善を行っていく。また、Google Ad Grants Online Marketing Challenge への参加も予定している。

7. 参考文献

- ・幸せな百寿者になるには 健康・医療フォーラム 2018（2018/03/06 朝日新聞 東特集 H 17 ページ）
- ・《朝日新聞デジタル》（ヒット！予感実感）ダイエット、その前に遺伝子検査！？（2015/09/10 デジ専）
<http://database.asahi.com/library2/main/top.php> アクセス日：2018/08/20
- ・（患者を生きる：3482）妊娠・出産 遺伝性がん：5 情報編 こまめに検査、早期治療（2018/02/02 朝日新聞生活 1 29 ページ）
- ・がん予防の基礎講座 Vol.5 遺伝性が多い乳がん、卵巣がん リスクを理解し、検診を受けよう（日経ヘルス 2016/06 号、94~97 ページ掲載）
- ・特集 1 ラクにやせる 糖質・脂質とり方の正解！糖質・脂質と体脂肪まるわかり！（日経ヘルス 2017/12 号、45~49 ページ掲載）
- ・ジョリーさん卵巣も摘出、遺伝子変異、がん予防（2015/03/25 日本経済新聞 朝刊 42 ページ）

- ・ネスレ、「健康」成長の柱、血液検査からサプリ提供。(2018/05/29 日本経済新聞 朝刊 17 ページ)
- ・阿部圭司 (2013) 「リスティング広告：成功の法則：Google アドワーズ&Yahoo!プロモーション広告対応」ソーテック社
- ・岸志津江、田村洋、嶋村和恵 (2017) 「現代広告論 第3版」有斐閣
- ・山野勉 (2017) 「Google アナリティクスのやさしい教科書。手を動かしながら学ぶアクセス解析の基本と実践ポイント」エムディエヌコーポレーション

【企画シート作成上の注意】 ※「第9回 西日本インカレ（合同研究会）大会参加要項」も合わせてご確認のうえ、企画シートの作成を行ってください。

- ・本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。
- ・本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、翌年3月に公開予定の「大会結果 Web ページ」に掲載されます。
- ・本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ・本企画シートは、作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。
- ・大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ・企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。
- ・商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。
- ・書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。
- ・発表時に使用する成果物がありましたらご記入ください。記入がない成果物は大会当日使用することができません。また記入いただいた内容について、事務局から代表者の方に確認をさせていただきます。
- ・電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。